

2026

園だより



ArteKodomotoKi



社会福祉法人 種の会
幼保連携型認定こども園
アルテ子どもと木幼保園
〒164-0001 中野区中野1-59-5
Tel 03-3365-0602



ホームページ



Instagram

お知らせ

- 暑い日には水分と休息をこまめにとり熱中症に注意します。
ご家庭でも登園する前に水分補給をお願いします。
- 髪の毛の長いお子さんは必ずご家庭から結んで登園して下さい。
華やかな飾りのあるゴムは園帽子を被る時に痛がったり、上手く被れなかったりすることがあります。飾り付きゴムは他児の誤飲にも繋がり危険です。髪ゴムはシンプルなものでお願いします。
- 蚊に刺されやすいお子さんは、朝ご家庭で虫よけをして登園してください。貼るタイプや身につけるタイプのものは取れる危険（薬品です）ご遠慮下さい。園では夕方外に出る場合に園の虫よけスプレーをしています。
- 朝、連絡簿に記入した降園予定時刻より遅れる時は、必ず事前に電話にてご連絡ください。
- 園の第三者委員は中野区行政書士の橋本美文先生です。一階エントランス階段横にご意見箱も設置しています。何かございましたら遠慮なく事務所にお声かけ下さい。
- 音楽あそびの外部講師ひとみ先生が6月より産休に入ります。その間は職員で音楽あそびを継続します。9月復帰の予定です。

June 6 2026						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1 音楽あそび	2	3 全園児健診 0歳児健診	4 運動あそび 地域サーキット	5	6 ファミリーデー
7	8 音楽あそび 発育測定	9 園庭開放ランチ	10 0歳児健診	11 運動あそび 地域サーキット	12	13
14 父の日	15 音楽あそび シャワー開始	16	17 園見学会	18 運動あそび	19 避難訓練	20
21	22 音楽あそび	23 ブレママ おしゃべり会	24	25 運動あそび	26 誕生会	27
28	29 音楽あそび	30 プラネタリウム (5歳)				

※地域サーキット、ブレママおしゃべり会、園見学会は地域にお住まいのご家族への子育て支援として開催しています。

※今月の園だよりのテーマ：保育者や友達との関わり



♪ラ・ラ・ラ 虹が 虹が空にかかって 君の 君の気持ちも晴れて
きっと明日はいい天気～♪『虹』（作詞:新沢としひこ、作曲:中川
ひろたか）の一説です。子どもは雨とも仲良しです！虹が出ると
心がぱっと明るい気持ちになりますね。子どもたちは日々の遊び
やふれあいを通して、のびやかに過ごしています。子育ては喜び
だけでなく、戸惑いや悩みを感じることもあります。完璧な子
育てはありません。大人も子どもも、共に揺れ動きながら育ち合
う関係でありたいと思います。

ファミリーデーでは大空のもと緑と土に触れ、ご家族でゆったり
とお過ごしてください。草花など小さいのちは心を豊かにしてく
れます。自然に触れながら、心と心をよせ合い、支え合う毎日を
重ねていきたいですね。

園長 山田寿江

どんな時に心が動きますか？

心が動いて身体が動くものですが、赤ちゃんは動いて心が動くことも多いようです。お子さんが大泣きしている時と夢中で遊んでいる時では、どちらに心を動かされますか？ とかく「泣く」や「騒ぐ」ことに心を向けがちです。大好きな人に心を向けて欲しい時、困ったことをすると自分を見てもらえる、心配をかけると自分のことを考えてもらえる。そんな試し行動は自分が愛されていることを確かめる大切な術なのかもしれません。

子どもの心をつかむコツ ～子どもの目のつけどころ～

保育者は、泣いている子どもを気かけますが、遊びに没頭している子どもにも目を向けます。何を面白がっているのかな？ 子どもの興味に気持ちを向けてみると、そこには新しい気づきやもっと知りたいという探究心が生まれていることが分かります。子ども達と探求活動を楽しむ魅力は保育のやりがいでもあります。安心の先に豊かな遊びがあり、そこに多くの学びがあります。子ども達と共に「面白い」を分かち合う活動を実践していきたいと思っています。ご家庭でもお子さんと一緒に「面白いこと探し」はどうでしょう。大人しくしている時こそ、何か発見があるはず。子どもの目のつけどころは大人とは一味違い、とてもユニークです。日々の暮らしの中で、その発想をみつけていけたらいいですね。



「親だって『はじめての100か月』



親だって『はじめての100か月』

こども家庭庁は、幼児期までこそ生涯にわたるウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に幸せな状態）の向上にとって最も重要な時期として、幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめての100か月の育ちビジョン）を示しています。親だって『はじめての100か月』は、子育ての悩みを分かち合う大切さを教えてくれます。ぜひご視聴下さい。 [Bing 動画](#)

年上年下の友達から学ぶこと

主幹教諭：中村

1歳児、2歳児クラスの友達で散歩に行った時の事。「おかえり」と門の前にお迎えに行くと、手をつないで帰ってきた2歳のAちゃんと、1歳のBくん。Aちゃんの表情は“あーやっと着いた”と、というような感じでした。一方のBくんはニッコニコで「あー」と、声を出して帰ってきた事を教えてくれました。

Aちゃんは“お姉さんだから”という気持ちから、一生懸命手が離れないように繋いで歩いてくれたのかもしれない。

Bちゃんは、優しくリードしてもらった事が嬉しかったのでしょう。同じクラス以外との関りは、とても貴重なものです。夕方の時間合同保育を行っていますが、その中で毎日学びがあります。遠くから年上の友達の遊びをジッとみていて、友達がその場からいなくなると、すぐに同じように遊び始めます。思うようにいかず、あれっ？という表情をしながらも、何度も行って出来た時は嬉しくて思わず声が出る事もあります。

大人がこうやってこうしてと伝えなくても、興味ある事は自分から真似て、出来るまで何度も挑戦します。出来た事を今度は教える立場になっていきます。こうやって相手の気持ちがわかっていくのですね。



苦手なことってあるよね

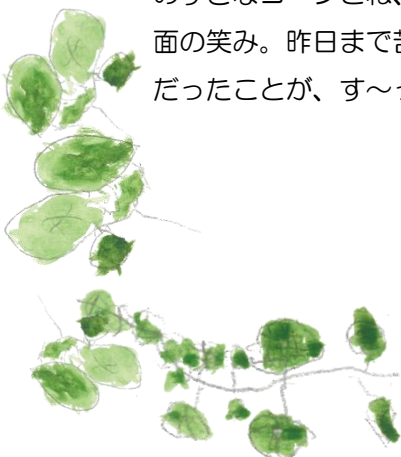
主幹教諭：黒木

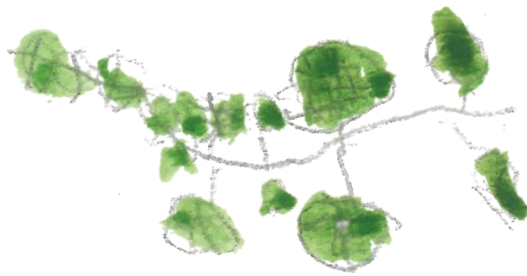
幼い子ども達には様々な苦手があります。歯磨きが苦手、帽子のゴムが苦手、ズボンにシャツを入れるのが苦手など。大人からすると何でそんなことが出来ないのだろう？何でそんなに嫌がるのだろう？と思うのですが、本人にとっては大問題なのです。保護者の皆様にも子どもの頃は苦手だったなという思い出があるのではないのでしょうか。

3歳クラスのAさんはお弁当箱が苦手です。お母さんは夕食をお弁当箱に詰めて練習までしてくれました。明日は遠足という日にそのお話しを伺い、Aさんの好きな海苔巻きをサララップに包み、“お弁当箱には入れない”という作戦をたてました。遠足当日は大雨でした。私もサララップに包んだおにぎりを持ってAさんと一緒に食べることにしました。ところがAさんの海苔巻きはお弁当箱の中にキレイに並んでいました。「あれ？お弁当箱大丈夫なの？」「うん、お母さんがね、入れてくれたんだよ！ぼくの好きなコーンとね、ちいさいハンバーグも入っているよ！あ、先生の海苔、ぼくと同じだね！」と満面の笑み。昨日まで苦手だったことが、ある日突然出来るようになる。子育ての中で、昨日までの大変だったことが、す〜っと消えてしまう。子どもの成長ってすごいです！子育ての面白さですね。

表紙の絵

5歳児ナノ組のしゅんくんがナスの花を描きました。水彩絵の具の濃淡から花びらの柔らかさを感じさせる絵です。プランターの中の土の様子も細かく描けていますね。





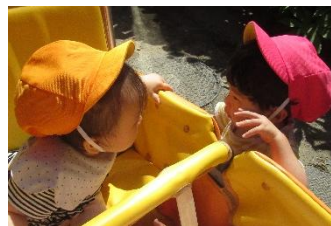
0 Ato



やさしくて大きな手から

同じ園庭内や午睡明けの時間は、特に1歳児クラスのお兄さん・お姉さんと関わることの多い0歳アト組さん。覗き込む顔や、「どうぞ」とやさしく自分より少し大きな手から差し出された葉っぱや木の実、玩具をじっと見つめる子どもたち。2歳のお兄さんが遊びに来てくれたこともあり、そっと側においてくれたオーボールを両手で嬉しそうに握り、そのお兄さんをずっと目で追っていたMさんの姿もありました。

身近なお兄さん・お姉さんの存在が、0歳児さんにとって大きな刺激となります。同じ空間で1歳児さんの遊ぶ姿を目にするだけでも、興味関心をもち、自分もやってみよう!というような好奇心にも繋がります。今後も異年齢での関わりを大切にしながら、一人ひとりの興味や発見を見守っていききたいと思います。



保育者から広がる表現

歌が大好きな子どもたち。普段から子どもたちが見つめるものを一緒にみながら歌を歌ったり、スキンシップを図りながらふれあい遊びやわらべ歌を楽しんだり、様々な歌に触れながらゆったりとした時間を過ごしています。♪手をたたきましょうに合わせてSくんは保育者の真似をしながら手をたたいたり、周囲の子も時折歌に合わせて手を上下に振ったりしながらそんな2人のやり取りをじっと見つめていました。Kさんも『かえるのうた』の♪ぐわ・ぐわに合わせて「が、が、あ、あ」と声を出す姿も。歌を聞いて、子どもたちの表現も豊かになっていきます。保育者の温かい関わりを通した日々の歌の時間を大切にしていきたいと思っています。



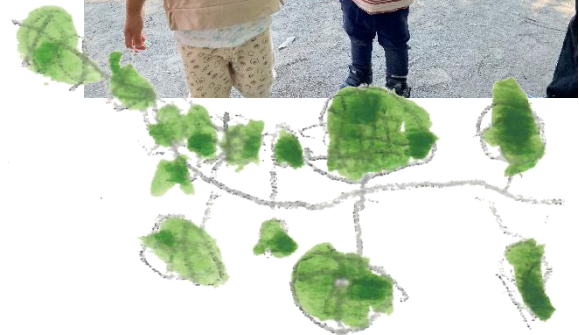
異年齢の子どもとの関わり

子ども達は0歳児クラスの子どものことがとても気になってい
ます。園庭や散歩先で0歳児を見つけるとバギーに駆け寄り覗き込みま
す。泣いている子がいれば頭を撫でたりする姿も見られます。0歳の
保育室で一緒に遊んだ時には玩具を渡す姿も見られました。

また、2歳児の子ども達と一緒に過ごすこともあります。一緒に散歩
に行った際には、テントウムシを見つけて捕まえると「テントウムシ
のお家はここだから返してあげて」という言葉を聞き、ハッとした表
情でテントウムシを草むらに返したり、遊び方を真似したりする姿が
見られました。

子ども達は、自分がしてもらった経験や異年齢の子ども達とも関わり
たいという想いから、自分なりの関わり方をしたり、2歳児の姿から
多くのことを学び、遊び方や考え方が豊かになったりするのだと感じ
ました。

今後も同じクラスの友達とだけでなく、他学年の子どもとの関りを持
つことができるようにしていきたいと思います。



好きな人と楽しむ絵本タイム

1歳児の保育室にはゆったりとできる絵本コーナーがあります。椅子に
座ったりカーペットに寝転がったりしながら好きなように絵本を読んで
います。読みたい絵本を見つけると保育者と一緒に読みます。お料理を
している絵本では絵に合わせてトントンと手を動かして野菜を切ってみ
たり、果物の絵本では「どれ食べようかな」と食べたい果物を選び保育
者と一緒に食べたりしています。このように絵本を通して語彙が豊かに
なったり、イメージを膨らませたりするとともに、それを保育者や友達
と共有しながら楽しむ姿が見られます。

絵本をただ読むだけでなく、子どもが友達や保育者との関わりの一つ
として楽しみながら読むことができるようにしていきたいと思います。





2 Pico



つながる思いやり

園庭に出る前の靴履きの時間。

Fくんが靴下を履こうとしながら「できないよ」と困っていました。すると、先に履き終わっていたMさんが「やってあげるよ」と声を掛け、靴下を履くのを手伝っていました。無事に履けると嬉しそうなFくん。すると今度は、Fくんが近くで困っていた別の友達に「やってあげる」と声を掛ける姿が見られました。またその様子を見ていた別の友達もほかの友達の靴履きを手伝っていました。

普段は「先生やって」と保育者に助けを求めることも多い子ども達ですが、友達にしてもらった嬉しさが“今度は自分が”という気持ちにつながっていました。これからも子ども達一人ひとりの思いやりの気持ちを大切にしながら、友達との関わりが広がってほしいです。



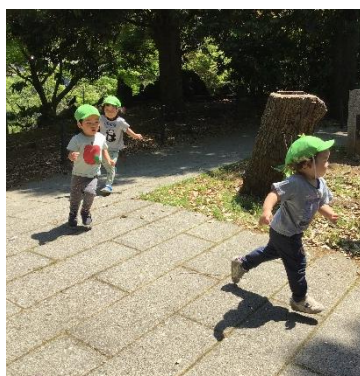
だれとつなごうかな

5月から散歩へ出掛ける機会が増えました。

友達と手をつないで歩く中で、「〇〇くんとつなぎたい!」「今日はつなぎたくない……」など、一人ひとりの様々な気持ちが見られます。

「〇〇くんつなごう」など手をつなげていない友達を探して誘ったりする姿もあり、子ども達なりに友達との関わりを広げています。

思いが重なり合わずに悲しい気持ちになることもありますが“自分はどうか”“友達はどう思っているのか”を少しずつ感じながら関係を作っているところです。ただ手をつないで歩くだけでなく、散歩の時間の中に友達との関わりや気持ちの育ちがたくさん詰まっています。安心できる友達や保育者との関わりを大切にしながら、様々な友達とのつながりを楽しんでほしいです。





3 Nano

「モサモサがある」

3歳ナノ組では、ピーマン、オクラ、ひまわりの種を植え育てています。芽が出て、すくすくと大きくなってきた苗を見つけて喜ぶ子ども達に虫眼鏡を渡してみました。葉を優しく手に取り、虫眼鏡で見つめる、長い間集中して観察を続けます。3種類の苗を繰り返し比べて見ていたAさんは、「(オクラの苗は)毛がモサモサしている」と発見しました。大人も気が付かなかった細かいところまでよく見ていることに関心しました。これからどんどん大きくなっていくこと、その植物を見てどんな発見をするのか今後がますます楽しみです。

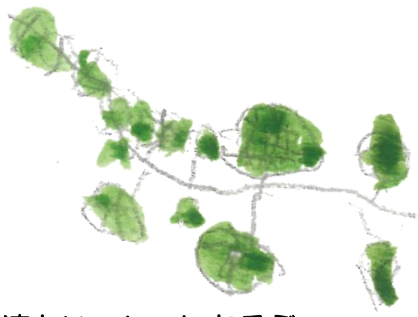


コンシンネ

3歳の部屋に“コンシンネ”という観葉植物がやってきました。名前の響きがすっかり気に入ったようで、子ども達はコンシンネに興味津々です。ここでも虫眼鏡が登場し、葉を詳しく観察してみると「先はとんがっている」「指よりも細くて長いね」「薄くて触ると冷たい」などたくさんの気づきがありました。

さらに近くにあってライトで葉を照らしてみると、Bくんは「パープルがある!」と葉の縁が紫色だということも発見しました。しかし、その後すぐに場を離れて粘土遊びを始めたBくん。もうコンシンネ観察は終わりがかと少し残念に感じていると、「出来た!」と元気な声が。Bくんは粘土でコンシンネの葉を再現していました。子ども達の観察眼にこちらまでわくわくした出来事でした。これからもコンシンネから楽しい活動が広がっていきそうです。





A Nano



友達といっしょにあそぶ

グループ活動の音楽遊び前に屋上で縄跳びをしました。始めは保育者が縄を回していると「先生トイレ～」と保育者が呼ばれて縄から手を離しました。すると「べびさんだよ～」と保育者が持っていた縄を揺らして他の子が跳んで遊んでいました。

「よし！綱引きだぁ」と4歳さんで綱引き開始！それを見ていて5歳さんも参加していき「4歳と5歳でわかれて引っ張るよ～」と対決が始まりました。体格差もあり5歳さんが勝利すると「5歳さん人数が多いんだよ。先生入って」とAさんが伝え本気モードです。縄をグルグル巻いて「うわ～つかまった～」と新しい遊びをして楽しむ子ども達でした。

始めは保育者が回していて「10回もできた！」とできたことが目標になっていました。子ども達からの提案で「綱引きやりたい！」と友達と協力して遊び、その時の笑顔が増えたりし、“どうしたら勝てるかな？”と考えている様子が見られました。子どもは自分達で成長することができるかと改めて感じる時間でした。



すきなことを伝える

自由遊びの時にスケッチブックでお絵描きをしています。好きなこと、宇宙・友達・食べ物などを絵に描いて友達や保育者に見せてくれます。

「これは宇宙の星だよ」Oくんがスケッチブックを見せてくれました。それを見てAさんも「これは友達の顔を描いたの」と見せ合いっこをしています。その様子を保育者が見て自由時間にお絵描きクイズをやってみました。

お絵描きクイズ

ホワイトボードに絵を描いて見ている友達になんの絵か当ててもらいます。「OOくんは～スイカが好きだからスイカじゃない?」「八百屋さん?」ときく子ども達。よく友達の好きなことや性格を知っていると関心してしまいます。

「ぶぶ～正解はスイカ割りをしているおじさんでした～」とくくん。「え～難しいよ～」と笑いが生まれました。

子ども達は「OOくんは駒回しが得意だよ」「OOくんと同じ電車作りたい」と保育者に教えてくれます。遊びを作るのが得意な子は中心になり、その子を軸に遊びが広がり、友達の輪ができます。今後どんな遊びが生まれるか楽しみです。



5 Nano

協力

散歩に行くことがわかると「サッカーしたい!」「みんなでサッカーしよう!」と提案してくる子どもが増えました。最近ではただボールを蹴るだけではなくゴール有りで行おうと提案したり、チームを作ろうと提案したりする姿が見られます。4歳の時からの積み重ねがあり、ルールやゴール、チームにも興味を持ち始めているようです。ある日の公園でサッカーを始める前に「チーム決めてやろう」とAちゃんとBちゃんが提案してくれました。2人の提案からチームを決めて始めると「おれを守るからゴール決めてきて」「攻めてくるからゴール守って」「そこ頑張れ」「あっち守って」とCちゃんやDちゃん、Eちゃんも一緒



になって子ども同士で指示を出し合ったり、応援しあったりと活気のあるサッカーになっていました。

チームで集まって4歳さんに攻める方向や役割を伝える姿もありました。

子どもからの提案でボール蹴りがルールのあるサッカーになり、遊びが発展していくことでほかの子ども達も一緒に楽しめていました。サッカーの前は全員が相手にただボールを蹴りあっていたがルールや目的が加わることで子ども達同士のかかわりにもつながっていると感じました。また、チームの友達と協力している姿にとっても成長を感じました。



あれもこれも一緒に

友達同士で何かを共有し、一緒にやるという姿がとても増えてきています。絵本や図鑑を読むにしても「一緒に読もう」と同じ本を共有したり、登場してくる物について話しながら読んだりしていました。一緒に寝転んで読む姿は兄弟のようでした。ボードゲームをする時でも保育者で行うのではなく友達を誘い、ルールを共有し、楽しみながら勝負をしています。

ラキューでは「あれがあったらいいんじゃない」「ケーキも欲しい」など会話をしながら世界観を共有し、出来たもので動きを付けながら遊んでいました。

これからも友達同士で遊ぶ姿を大切に見守っていきたいです。



Atelier



信頼関係と安心感があればこそ

泣き声も少なくなり穏やかに過ごしている0歳アート組にアルミホイルを持って遊びに行ってみました。

0歳児室に隣接する小部屋に素材を広げてみましたが、子ども達は遠巻きに見ているだけで興味を示す様子はありません。そこへ担任の保育者が入った途端、子ども達が次から次へとついて来くるではないですか。

アルミホイルを見つめて、触って、引っ張って、握って……一人ひとりが初めての素材を体験。そこには温かい眼差しで見守り、時には破ったり、振ったり、丸めたりするなど子ども達が気づけるように、別の遊び方をさりげなく見せる保育者の姿がありました。

子どもの遊ぶ様子を見ながら容器を出すと、丸めた素材を入れ始めました。全部入れ終わり、それを誇らしそうに保育者に見せる姿



から「できたよ、ほら見て！」と自分の喜びを大好きな保育者と分かち合いたい気持ちが伝わってきました。

Aくんは、ハイハイで光る素材に近づいて掘むと、上下左右に揺らしていました。そのうち床と擦れたときに出る音に気づいて、さらに大きく動かし音がするたびに膝をピンピン曲げ伸ばしして楽しい気持ちを表していました。

アルミホイという素材から様々に遊ぶ姿が見られましたが、いつも側で見守ってくれている、頼りになる存在という信頼関係と安心感があればこそ子ども達は、面白そうだ、やってみようチャレンジできるのだということを実感したひと時でした。

(文責：雨宮)

ほけんだより

G.W はどのように過ごされましたか？生活のリズムを戻すことは大人にとっても大切なことです。子どもの成長発達には食事・睡眠は欠かせません。夜更かしや朝ごはんを食べない等のリズムが崩れてしまったご家庭は、できることから少しずつ戻していきましょう。5歳児クラスに「9時までに布団に入り、7時までに起きよう」と話をしました。翌日、登園して来たKくんとお母さんの会話です。「今日ほく何時に起きた？」「6時45分」「寝たのは？」「9時」と、教えてくれました。聞いたことをきちんと伝えられ、早速実行してくれたことを嬉しく思いました。

ヒヤリハット

<エピソード1>

3歳児クラスでの出来事です。お医者さんごっこで洋服を胸まで上げたAさんのお腹をBくんが触っていました。その場で、お腹は出さないし触らないことを伝えました。そこで、自分のからだを守ることを伝えたいと思い「だいじ だいじ どーこだ？」の本を使って、プライベートゾーンの話をしました。からだのパーツを指で示して名前を聞くと、真剣な表情で答えてくれました。



「自分のからだは、見ても触ってもいいこと。反対に人のからだは勝手に見たり触ったりしないこと」を伝えました。からだに触られて嫌な時は、「嫌と言ってい」「嫌と言えなくても大丈夫、そのときはおとなの人に話して」とも伝えました。話が終わると、そっとMさんが近づいて来て「ココ(ぶつめた)」と、額のたんこぶを見せてくれました。その時には言えず我慢をしていたのでしょう。話をした後のMさんはホッとした表情を見せてくれました。からだのことを話そう、伝えようと思ってくれたのだなと感じました。

<エピソード2>

給食に「カツオの竜田揚げ」が出た時のことです。

唐揚げだと思ってほおばり、Aくん：衣が固くて吐いた Bくん：喉に引っかかって吐いた Cくん：味が思ったのと違って飲み込めず吐いたということが起きました。園での唐揚げは5歳児のリクエスト給食に上がるほど人気です。丸い形状の物の窒息への注意喚起はありますが、形状に関係なく子どもの食事には窒息のリスクが伴います。給食は子ども達の大好きな時間です。献立によって安全に食べられようように声をかけて見守っていきたいと思います。ご家庭でも普段の食事から、ゆっくりとよく噛んで食べる習慣が付くように声をかけてあげてください。



発育測定	6月 8日(月)	
0歳児健診	6月 3日(水)	6月10日(水)
全園児健診(プール前健診)		6月 3日(水)
歯科検診	6月25日(木)	
保健指導予定	プライベートゾーン	歯の話



食育だより

We want to cook delicious food



雨音が楽しい季節です。雨の日には、靴入れにかわいい長靴が並びます。雨の日も楽しみながら、たくさん遊びしっかり食べて元気に過ごしましょう。

箱の中身は何だろうな

2歳ピコ組で野菜に親しんでもらおうと、覗き穴を開けた段ボールににんじん、しいたけ、じゃがいもを入れて遊びました。箱を持ち上げて「重たいね」「音がする」とドキドキした様子の子も達。野菜が出てくると、じっくりと観察したり、触ってみたり。しいたけの軸と傘の部分に触り比べて「同じじゃないね」「ここふわふわ」と発見がありました。次はどんな食材を持っていこうかなと給食室も楽しみにしています。



3歳ナノ組 たまねぎの皮むき

「明日の給食はカレーライスです。カレーライスには何が入っているのかな？」
「たまねぎ」「にんじん」「じゃがいも」「おにく!!」「あとトマトのやわらかいやつ?!」「それはトマトの缶詰だね」

「包丁使うの?」「包丁はもう少し大きくなってから使おうね」

「今日はたまねぎの皮をむいてくれるかな」

と始まった(たまねぎの皮むき)。きれいに少しずつむいていく子、

力いっぱいむいてくれた子、夢中になって実もむいて慌てて先生に止められた子「白くなったらむけているよ」と教えてあげたら、「むけたよー」と

見せてくれました。ふと横を見ると涙がポロポロ流れている子が、目にしみた様子「もう止めておく?」と聞くと、首を横にふって、涙を流しながら真っ白になるまでむいてくれました。



5歳ナノ組さん包丁を使ってのクッキングを始めました。猫の手でしっかりとにんじんをおさえて上手にとんとんと包丁で切っていました。



食中毒に気を付けましょう

蒸し暑い季節は食中毒が起こりやすくなります。

食中毒を防ぐには、食品を購入してから、調理して、食べるまでに食中毒の原因となる菌を「つけない」「ふやさない」「やっつける」ことがとても大切です。

手洗いは、食中毒予防の第一歩です。指や爪の間、手首もしっかり洗いましょう。

食中毒予防の3つのポイント

- ① つけない……食材をよく洗う、生肉・魚は調理器具を分けたり、消毒したりする
- ② 増やさない……冷蔵食品はすぐに冷蔵庫に入れる
- ③ やっつける……肉や魚は中心までしっかり加熱する

6月の行事食

6/12(金) 郷土料理「宮城県」

〔給食〕

豚のネギ塩焼き……豚肉のネギ塩炒め。

牛タン風の味付けをイメージ。

なす炒り……なすと油麩の炒め物。

はっと汁……小麦粉の生地を薄く伸ばして、野菜と煮込んだ汁。

〔おやつ〕

がんづき(黒糖ごま蒸しパン)

……黒糖風味の蒸しパンに雁の群れを表した菓子黒ごまがのってます。

6/26(金) お誕生日会

〔給食〕食パン、マカロニグラタン、

ちくわとブロッコリーの和風サラダ

ズッキーニとコーンのスープ、すいか

〔おやつ〕

お誕生日ケーキ(ブルーベリーマーブルケーキ)

6月の旬の食材

アスパラガス、かぼちゃ、きゅうり、キャベツ、ごぼう、ズッキーニ、さやいんげん、じゃがいも、なす、レタス、アジ、カツオ、カレイ、すいか、メロン

